

〔 横浜市陶芸センター 〕
平成 29 年度業務報告及び収支決算

〔 シンリュウ株式会社 〕

* 文中の事業欄において、 ●：主催事業 ○：共催事業
* 文中の達成指標、達成状況欄において、 □：定量的指標 ■：定性的指標

1 施設の概要

施設名	横浜市陶芸センター
所在地	横浜市中区本牧三之谷 59-3
構造・規模	木造平屋建て及び登り窯 1 棟(別棟)
敷地・延床面積	延床面積 396 m ² 、 登り窯延床面積 60 m ²
開館日	平成 5 年 8 月

2 指定管理者

法人名	シンリュウ 株式会社
所在地	埼玉県朝霞市上内間木 514-2
代表者	小澤 忠
設立年月日	平成 2 年 4 月 26 日
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針の総括

【指定管理中の使命】

横浜市陶芸センターの使命は、横浜市における作陶活動の拠点施設として、広く市民が陶芸に親しむ機会を提供するとともに、市民の作陶技術向上の支援を行うことにより、陶芸の普及を図ることであり加えて、陶芸を通じて市民文化の振興及び文化芸術が持つ創造性を活かした魅力あるまちづくりに寄与することにあります。この使命を達成するため、以下五つの方針のもと運営を行いました。

①陶芸の普及と市民の作陶技術向上を支援する。

1 日体験教室、季節のやきもの教室、親子陶芸教室、手びねり教室、電動ロクロ教室、自由作陶教室を開講し、陶芸の普及と市民の作陶技術向上を支援する取組を進めました。

②市民の主体的な作陶活動を支援する。

電動ロクロ水挽き徹底教室、絵付け教室、チャレンジ教室、招待作家講座、穴窯焼成講座、還元焼成講座、大物焼成講座を開講し、市民の主体的な作陶活動を支援しました。

③市内の公益的作陶活動を支援する。

陶芸指導者研修講座、随時開催される団体教室を開講し、市民の公益的作陶活動を支援するよう努めました。

④陶芸と市民とを結びつける場とする。

陶芸と市民を結びつける場として、陶芸祭での手びねり・楽焼絵付け体験、電動ロクロ体験、陶芸センター利用者の作陶作品展の開催、SNSや各種メディアを活用した情報発信に努めました。

⑤施設の管理及び市民の円滑な施設利用の促進。

陶芸センターでの陶芸用小道具の無料貸出しや、作陶環境の改善、注文小道具の迅速な引き渡し、欠席日振替制への対応など利用促進に努めました。

【業務取組みの基本的な考え方】

①利用者へのサービスを、もっと向上する。

施設利用者からのアンケートや要望、各スタッフからの提言などを考慮しながら利用者がより使いやすい作陶環境づくりに取り組みました。

②陶芸知識の基地化を、もっと推進する。

陶芸ライブラリーには毎年新図書を追加補充し、利用者、来館者を問わず利用できる貸し出し制度を引き続き整備しました。また、新企画講座により施設利用者とスタッフが陶芸技法の知識を共有できる様、陶芸知識及び技法の共有と伝達拡散に努めました。

③地域にもっと開放する。

陶芸祭での町内商店会、三溪園、横浜市緑の協会との共催企画や、開館時間中の見学者への説明、電話やホームページからの陶芸に関する質問・相談に対応し、開かれた陶芸施設作りを推進しました。

④環境を、もっと意識する。

本牧市民公園の中に位置し、三溪園が隣接する静かな環境の中での作陶活動をより多くの人に紹介するために、陶芸センターの作品写真や映像をSNSやホームページにアップし、新規利用者の拡大と興味の喚起につながるように努めました。

(2) 29年度の業務の方針及び達成目標の総括

【全体業務について】

平成29年度の陶芸センター事業運営は、平成28年度耐震工事後の開館準備期間を9日間設けたため、4月10日からのスタートとなりました。各種講座の年間のスケジュールは多少変則的な日程でしたが、各講座の講座日数を加減しながらスケジュールを構成しました。また、スマートフォンからのアクセスが容易になるようサイトを更新し、フェイスブックも新たに開設しました。アンケート等により利用者の要望を取り入れ、使用できる粘土を新たに追加したほか、新講座に於いては磁器土を素地として使用するチャレンジ講座も開講しました。毎年開講する招待作家講座では、現代の民芸陶器窯元として300年の伝統が継承されている会津本郷焼（宗像窯）窯元の宗像利浩氏を講師に迎え、盛況のうちに終わることが出来ました。毎年開講される講座に新たな企画を取り入れ、マンネリ化することなく講座を企画することが出来ました。

①事業について

体験型、基礎型、自主型、専門技能型、公益的作陶支援型の各教室について、各講座担当講師及びスタッフからの改善点などの意見を取入れ、作品の安定した仕上がりとはバリエーションのある器づくりを目指すなど質の向上を図りました。新企画のチャレンジ講座では石膏型による泥漿鑄込み技法

や、染付け（絵付け）教室では磁器素地の皿を使って野草紋様を描き還元焼成で仕上げる講座を企画し、定員に対し95%の応募がありました。1日体験の季節のやきもの教室は年間3日間開講し、親子で楽しめる簡単なタタラ型取り成形による作陶法により、誰でも参加しやすい講座となりました。年に一度の陶芸祭は本牧市民公園、三溪園、八聖殿、近隣商店などが参加する共催企画となり、陶芸センター利用者参加のバザーなど昨年に比べ規模が拡大し、4日間での陶芸祭入場者数は2,243人になりました。

②運営の総括

開館準備期間9日間とVOC空気環境調査、定期点検日、年末年始休館で10日が休館となり、陶芸祭準備日2日間を除き、年間344日間開館し利用促進に努めました。

貸室及び自主事業の利用者数は、今年度目標である17,169人は達成できませんでしたが、合わせて15,475人となり前年比（11,277人）137%となり、例年の年間利用者数に近づいてきました。

スタッフと施設利用者からの提案・要望を参考に釉掛場のスリム化と通路スペースの拡張をし、作陶環境の改善に努めました。

③管理の総括

経年劣化による修繕が必要と思われる設備・備品や危険と思われる箇所を日常の見回り点検により洗い出し、将来の改修に備えました。劣化電源スイッチ及びコンセントの交換30箇所、中庭雨樋のコーキング処理、非常警報設備の電源切替エレレーの修繕を行い、蛍光灯安定器の故障によるLEDライトへの交換などのほか、電動ロクロ4台のボリュームコントローラーの交換修理や3台の真空土練機の分解修理を行いました。また、既存蛍光管の交換頻度も年々多くなってきました。

④その他の総括

日報、月報、業務計画書、業務報告書の作成、業務評価、その他指定管理者業務について、適切に対応し、また、横浜市との連絡調整を密にし、個人情報の保護など、円滑な業務遂行に努めました。

4 業務の取組と達成状況

(1) 事業について

ア 陶芸の普及と市民の作陶技術向上の支援について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
●体験型教室の開催	<input type="checkbox"/> ① 一日体験教室を年10日間開催する。目標利用者数220人 <input type="checkbox"/> 一日電動ロクロ体験教室を年間10日間開催する。目標利用者数130人 <input type="checkbox"/> 季節の焼き物講座を年3回開催する。目標利用者数60人 <input type="checkbox"/> 親子陶芸教室を年間17日間開催する。目標利用者数680人	<input checked="" type="checkbox"/> ① 一日体験の手びねり絵付け体験講座を実施 <input checked="" type="checkbox"/> 1日体験電動ロクロ講座を実施 <input checked="" type="checkbox"/> 季節の焼き物講座を実施 <input checked="" type="checkbox"/> 親子陶芸教室の実施 講座日程が市内の小学校の終業式と重なった為1日少なくなりました。	<input checked="" type="checkbox"/> ① ● 一日体験教室の開催 <input type="checkbox"/> 手びねり10回(126人) <input type="checkbox"/> 電動ロクロ10回(138人) <input type="checkbox"/> 季節の焼き物講座3回(42人) <input checked="" type="checkbox"/> ● 親子陶芸教室の開催 <input type="checkbox"/> 開催回数16日間 <input type="checkbox"/> 利用者数541人

<p>●基礎教室の開催</p>	<p>□陶芸祭期間中、手びねり体験、ロクロ体験、楽焼の教室を4日開催する。目標利用者数140人</p> <p>□手びねり初級教室を年間2回、16日開催する。目標利用者数330人</p> <p>□手びねり中級教室を年間2回、16日開催する。目標利用者数380人</p> <p>□電動ロクロ初級教室を年間2回、14日開催する。目標利用者数230人</p> <p>□電動ロクロ中級教室を年間2回、14日開催する。目標利用者数200人</p>	<p>■陶芸祭期間中の陶芸体験の実施。</p> <p>■手びねり初級教室を実施</p> <p>■手びねり中級教室を実施</p> <p>■電動ロクロ初級教室の実施</p> <p>■電動ロクロ中級教室の実施</p>	<p>●陶芸祭期間中に体験教室を3講座開催</p> <p>□開催回数 4回4日</p> <p>□利用者数 117人</p> <p>●手びねり初級教室開催</p> <p>□開催回数 2回16日</p> <p>□利用者数 235人</p> <p>●手びねり中級教室開催</p> <p>□開催回数 2回16日</p> <p>□利用者数 186人</p> <p>●電動ロクロ初級教室の開催</p> <p>□開催回数 2回14日</p> <p>□利用者数 187人</p> <p>●電動ロクロ中級教室の開催</p> <p>□開催回数 2回14日</p> <p>□利用者数 167人</p>
<p>●自律型教室の開催</p>	<p>□自由作陶教室を年間341日開催。目標利用者数7,000人</p> <p>□第2自由作陶教室を年間48日開催。目標利用者数1,200人</p>	<p>■自由作陶教室を開講、VOC空気環境検査の為、1日追加休業</p> <p>■第2自由作陶教室を開講</p>	<p>●自由作陶教室の開催</p> <p>□開催日数 340日</p> <p>□利用者数 6,874人</p> <p>●第2自由作陶教室開催</p> <p>□開催日数 48日</p> <p>□利用者数 852人</p>
<p>●気軽に陶芸を体験してもらう取組</p> <p>●次世代育成の取組</p>	<p>□1日体験教室や、陶芸祭で事前予約なしの体験の場の提供</p> <p>□低学年を対象とした陶芸解説資料の発布</p>	<p>■陶芸祭期間中、電動ロクロ、手びねり、楽焼を開催</p> <p>■『焼物は土と石から作られる』を発布</p>	<p>□陶芸祭期間中に4日間3講座を開催（再掲）</p> <p>□夏休み親子陶芸教室と団体教室等参加者に210部発布</p>

イ 市民の主体的な作陶活動の支援について

<p>[取組内容]</p> <p>●専門技能習得講座としての多くのテーマの講座を企画・実施</p> <p>・電動ロクロ水挽き徹底講座</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□専門技能習得講座として多くのテーマの講座を企画・実施</p> <p>□電動ロクロ水挽き徹底講座を年2回、8日間開催</p> <p>目標利用者数 100人</p>	<p>[実施内容]</p> <p>■電動ロクロ水挽き徹底講座の実施</p>	<p>[達成状況]</p> <p>●電動ロクロ水挽き徹底講座</p> <p>□開催日数年2回8日間</p> <p>□利用者数124人</p>
--	--	---------------------------------------	--

<p>・絵付け教室</p>	<p>□絵付け講座を年2回6日間開催。目標利用者数 70人</p>	<p>■九谷和絵具での上絵付け講座を実施</p>	<p>●絵付け教室の開催 □開催回数年2回6日間 □利用者数 63人</p>
<p>・チャレンジ講座</p>	<p>□チャレンジ講座を年6回、24日間開催。目標利用者数 480人</p>	<p>■磁土、備前土、耐熱土、萩土を使用した講座を実施</p>	<p>●チャレンジ講座 □年6回24日間開催 □利用者数 287人</p>
<p>・還元焼成講座</p>	<p>□還元焼成講座を随時開催 目標利用者数 800人</p>	<p>■貸室・自由作陶教室利用者を対象に随時開催</p>	<p>●還元焼成講座受講者 □利用者 707人 (貸室 288人、自由作陶教室 419人)</p>
<p>・大物焼成講座</p>	<p>□大物焼成講座を年12回開催 目標利用者数 24人</p>	<p>■貸室・自由作陶教室利用者を対象に毎月2名が大物制作</p>	<p>●大物焼成講座 □年12回 □利用者数 24人</p>
<p>・楽焼焼成講座、サヤ鉢焼成講座等</p>	<p>□楽焼・サヤ鉢焼成講座を年1回開催</p>	<p>■楽焼は陶芸祭、サヤ鉢焼成はチャレンジ講座で実施</p>	<p>●楽焼・サヤ鉢焼成講座 □年1回開催 【参考】楽焼利用者 36人、サヤ鉢焼成 43人</p>
<p>・招待作家講座</p>	<p>□招待作家講座を年1回開催 目標利用者数 24人</p>	<p>■会津本郷焼 宗像利浩氏 天目茶碗の挽き方講座</p>	<p>●招待作家講座 □利用者 18人</p>
<p>・穴窯焼成講座</p>	<p>□穴窯焼成講座を開催 目標利用者数 60人</p>	<p>■小田原市正炎窯に於いて129時間の薪窯焼成</p>	<p>●穴窯焼成講座6日間 □利用者数 66人</p>
<p>・三溪園共催講座</p>	<p>○□三溪園共催講座を開催 目標利用者数 40人</p>	<p>■三溪園に於いて自作の抹茶茶碗でお茶の御点前</p>	<p>○三溪園共催講座 □利用者数 38人</p>
<p>・1日上絵付講座</p>	<p>□1日上絵付け講座を年1回開催 目標利用者数 16人</p>	<p>■3日間の絵付け講座受講者が受講できる上級講座</p>	<p>●1日上絵付講座 □利用者数 11人</p>
<p>・半日染付け講座</p>	<p>□半日染付け講座を年1回開催 目標利用者数 10人</p>	<p>■磁器の素地に染付けし還元の炎で焼成</p>	<p>●染付け(半日) □利用者数 19人</p>
<p>●作陶活動の成果発表の場の提供</p>	<p>□利用者の作品発表の場として、陶芸祭時に作陶展を年1回開催する。目標出品者数 60名</p>	<p>■陶芸展の実施</p>	<p>●利用者発表の場 □作陶展出品者 66人 対前年比 79% (昨年度 84人)</p>
<p>●新講座・実験的講座の開催</p>	<p>■季節のやきもの講座 ■チャレンジ講座 石膏型による泥漿鑄込み講座の開催 ■チャレンジ講座 磁器による醤油差し講座の開催</p>	<p>■ハロウィン・クリスマスひな祭りを実施 ■石膏型による泥漿鑄込み講座を実施 ■磁器による醤油差し講座を実施</p>	<p>●季節のやきもの講座 □年3回42人(再掲) ●泥漿鑄込み講座開催 □開催回数 4回4日間 □利用者数 91人(再掲) ●磁器による醤油差し講座を開催 □開催回数 4回4日間</p>

<p>●講師・アドバイザーの推奨するチャレンジ講座の開講</p>	<p>●チャレンジ講座のなかにスタッフが推奨する技法講座を開講</p>	<p>■ルーシーリーの技法講座の実施</p> <p>■耐熱土のコーヒードリッパーセット講座の実施</p>	<p>□利用者数 52人(再掲)</p> <p>●ルーシーリーの技法講座開催</p> <p>□開催回数 4回4日間</p> <p>□利用者数 60人(再掲)</p> <p>●耐熱土のコーヒードリッパーセット講座開催</p> <p>□開催回数 4回4日間</p> <p>□利用者数 19人(再掲)</p>
----------------------------------	-------------------------------------	--	---

ウ 市内の公益的作陶活動に対する支援について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>①陶芸指導者対象の研修講座の開催</p> <p>②公益的作陶活動に対する情報提供等や相談対応等、陶芸知識の発信による基地化</p> <p>③出張教室・講座等の対応など陶芸知識の発信による基地化</p>	<p>①●□小中高校や支援学校など陶芸担当指導者のための研修講座を年1回開催する。目標利用者数 15人</p> <p>②●■小中高校・特別支援学校に指導者研修講座の案内の他、作陶活動に必要な情報や質問を開き取り、研修や電話相談等での陶芸知識の発信に努める。</p> <p>□学童保育を中心に年1回ダイレクトメールを発送し、団体教室の案内の他陶芸センター紹介の情報を提供し、陶芸活動の底辺拡大を図る。</p> <p>■学校をはじめ作陶活動を行っている団体、個人からの陶芸に関する相談及び出張教室の要望がある場合には積極的に対応し、陶芸知識の基地化に努める</p> <p>③■出張教室での相談への対応</p> <p>□団体教室を年10件以上実施する。目標利用者数360人</p>	<p>①■指導者研修講座の実施</p> <p>②■指導者研修講座の受講希望者には陶芸についての質問事項を事前に提出していただき、少ない開催日数内での効率的な研修講座が開催できました。</p> <p>■学童保育に対し団体教室の案内ダイレクトメールを発送しました。</p> <p>■横浜国立大学附属小学校総合学習体験会への参加・協力</p> <p>③■出張教室の相談はありませんでした。</p> <p>■学童クラブなど手びねりの団体教室を実施</p>	<p>①●指導者研修講座の開催</p> <p>□開催回数 1回1日</p> <p>□利用者数 16人</p> <p>□ダイレクトメール 514通発送</p> <p>②■午前の講座は講義と質疑応答</p> <p>■午後の講座は実技</p> <p>□ダイレクトメール 221通発送</p> <p>□開催回数 1回</p> <p>□3年生 37名</p> <p>□出張教室相談 0件</p> <p>●団体教室の開催</p> <p>□開催回数 7回</p> <p>□利用者数 174人</p>

エ 陶芸と市民及び来街者を結びつける場づくりについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①施設の象徴としての登り窯の活用	<p>①■登り窯を柵外からのみの見学用施設とし、構造・使用方法の解説文など掲示を企画する。</p> <p>■登り窯を施設の象徴的扱いとし、印刷物等で施設紹介する際には、登り窯の写真も掲載する。</p>	<p>①■登り窯の構造断面図を掲示</p> <p>■今年度も引き続きホームページ上に登り窯の映像をセンター案内動画で紹介。</p>	<p>①■登り窯の構造断面図を掲示し、より多くの来場者が登り窯を見学しました。</p> <p>□案内動画再生回数</p> <p>□講座案内 1054回</p> <p>□陶磁器の出来るまで 1234回</p>
②近隣地域と連携した取組をおこなうための企画検討	<p>②■陶芸祭に本牧市民公園・三溪園・近隣地域商店会の出展規模を拡大周知する企画を検討する。</p> <p>③□陶芸祭での予約なしで</p>	<p>②■期間中の三溪園入場割引の協定と本牧市民公園バザーへのミニ盆栽鉢の寄贈、センター利用者が自主企画した陶器市の開催と地域商店街の出店。</p>	<p>②□陶芸センターへの来場者数4日間 2243人 (再掲)</p>
③陶芸祭で初めて陶芸にふれる来場者のための企画実施	<p>参加できる「手びねり・電動ロクロ・下絵付け・楽焼」体験の他、作品展人気投票での抽選会バザーなど来場者の興味を喚起する。</p>	<p>③■人気投票は利用者の要望により中止とし、箸置き他、お茶券等をアンケート回答者の景品として提供しました。</p>	<p>③●陶芸祭関連講座（再掲）</p> <p>□開催回数各講座4回</p> <p>□手びねり体験講座</p> <p>□利用者数 48人</p> <p>□電動ロクロ体験講座</p> <p>□利用者数 33人</p> <p>□楽焼き体験講座</p> <p>□利用者数 36人</p> <p>○三溪園入場割引企画</p> <p>□利用者数 38人</p>
④施設利用促進のための広報活動・宣伝活動、ホームページや紙媒体の製作の充実	<p>④■スマートフォンからのアクセス環境を充実させる為にテンプレートの変更や新規動画の投入等を企画検討する。</p> <p>■全ての講座について募集チラシを作成、館内にて発布する。</p> <p>□陶芸祭チラシを年1回作成し、新聞折込広告、DMなどで活用する。</p>	<p>④■スマートフォン用テンプレートの導入</p> <p>■チラシの作成・配布</p> <p>■新聞折り込みの実施</p>	<p>④■ホームページをスマートフォン対応に更新したことにより、アクセス環境のクレームが無くなった</p> <p>■すべての講座・貸室のチラシを発布</p> <p>□陶芸祭のチラシを新聞折込みで4万部発布</p>

<p>⑤一般見学者への質問対応や、陶芸ライブラリー、映像等による詳細な情報、電話やホームページをつうじての相談等の情報発信</p>	<p>■市の刊行物、フリーペーパー、一般紙誌、新聞イベント情報、陶芸誌などへの情報提供、記事掲載を推進する。</p> <p>□ホームページの年度更新の他、新着情報を月1回以上更新する。</p> <p>■利用者に支障のないよう「一般見学者の団体」も受け入れ、陶芸に関する質問に積極的に対応し、映像・陶芸ライブラリーによる情報の発信を行う。</p> <p>■電話や、お問い合わせフォームで陶芸全般に関する質問に答え対応する。</p>	<p>■新聞記事の掲出と折り込みチラシの実施</p> <p>■ホームページの更新</p> <p>■市内や他都市の陶芸サークルや同好会などの団体見学がありました。</p> <p>■市内個人陶芸家より窯業機械・釉薬等のリサイクル及び廃棄手順の相談</p> <p>■学生から貸窯と焼成方法の相談</p>	<p>□神奈川新聞に親子陶芸教室の記事を掲載し、リニューアルオープンと親子陶芸教室のチラシを8万枚新聞折込みで発布</p> <p>□新着情報 月2回以上更新</p> <p>□団体見学 4件 26名</p> <p>□陶芸ライブラリー 貸出利用数66名106冊</p> <p>□図書の補充 新書10冊、寄贈39冊 図書は、貸出利用だけでなく、作陶活動の参考にする為、施設内で利用者に閲覧されています。</p> <p>□1日平均閲覧者数5名</p> <p>□陶芸に関しての相談</p> <p>□電気炉取扱 2件</p> <p>□材料廃棄 1件</p> <p>□陶芸工房開設 1件</p>
---	--	--	--

オ 陶芸センターに関する情報提供及び広報・プロモーション

<p>[取組内容]</p> <p>①Webサイトによる施設案内</p>	<p>[達成指標]</p> <p>①■ホームページ以外にヨコハマアートナビ、横浜カレンダーなどのWebサイトに講座スケジュールを載せてもらうほか、陶芸関係サイトにリンクを積極的に貼れるよう調整する。</p> <p>■ホームページ上のギャラリーを充実させ、陶芸祭人気作品、招待作家講座の画像をアップする。</p>	<p>[実施内容]</p> <p>①■今年度は新たにフェイスブックを開設し、毎月の更新によりフォロワー数が増加しました。また、習い事サイト等にもリンクが貼られました。</p> <p>■穴窯焼成講座と陶芸祭・招待作家講座映像をDVD化。</p>	<p>[達成状況]</p> <p>①□フェイスブックによるフォロワー数 68人</p> <p>□陶芸関係リンクサイト 日本の学校と習い事 陶芸広場・ シンリウホームページ 陶芸ネットコム 4件</p> <p>■施設・一日体験講座をYouTubeにアップして毎年再生回数が増加しています。</p>
-------------------------------------	---	---	---

②陶芸関係サイト等を活用した広報	②■陶芸ネットコムなどの関連サイトのほか、無料の全国規模の習い事サイトなどにも情報を提供する。	②■情報提供の実施	■陶芸ネット（11月） ■日本の学校習い事スクールモバイル版（4月） ■エキテン（5月） ■Eショップスローカル（6月）
③陶芸センターの知名度アップ	③■陶芸祭・横浜アマチュア陶芸展を通して近隣地区・全国に向けて知名度を上げる。 ■メディアの取材・撮影には積極的に対応する。	③■横浜アマチュア陶芸展は、次年度開催予定。 ■メディアの取材はありませんでした。	③■毎年の陶芸祭を通して近隣地域への知名度を上げました。 ■メディア取材はなし。
④外国の方向けの情報発信方法の検討	④■日本に在留されていて、作陶を希望される外国の方のために、1日体験や他の講座受付の英語版のチラシや、パンフレットをセンター内に常設する。 ■作陶経験のある外国人を対象に、英語で受講できる自由作陶教室があることをお知らせする。	④■英語版チラシ・パンフレットの作成 ■英語版チラシの作成	④□1日体験英語版は3ヶ月ごとに更新、貸室・自由作陶教室英語版は年1回更新 □4人が自由作陶教室を受講、1人が貸室に在籍

(2) 施設運営について

ア 作陶活動のための施設の提供について

[取組内容] ①適切な施設開館及び施設の貸出	[達成指標] ①□開館について <table border="1" data-bbox="435 1400 762 1496"> <tr> <td>開館日数</td> <td>345日</td> </tr> <tr> <td>開館時間</td> <td>9時～17時</td> </tr> </table> <p>□休館日 20日（休館日：清掃・空調機点検2日、電気点検1日、年末年始6日、耐震工事9日、陶芸祭準備2日） ■開館時間、休館日については、館内掲示やホームページ等で周知を図る。</p>	開館日数	345日	開館時間	9時～17時	[実施内容] ①□344日間開館しました。 VOC 検査で1日緊急休館、清掃・空調機点検2日間、電気点検1日間、年末年始6日間、耐震工事によるセンター再開準備期間で9日間、陶芸祭準備で2日間休館しました。 ②計画通り実行し、適切な料金設定と徴収を行いました。	[達成状況] ①□開館日数 344日 □休館日 21日 ■館内掲示やホームページで周知 ②□貸室利用料金 午前・午後 各500円 一日 1000円				
開館日数	345日										
開館時間	9時～17時										
②公園条例に基づいた利用料金の徴収	②□利用料金について <table border="1" data-bbox="416 1883 762 1980"> <tr> <td></td> <td>午前</td> <td>午後</td> <td>一日</td> </tr> <tr> <td>施設経費</td> <td>500円</td> <td>500円</td> <td>1000円</td> </tr> </table>		午前	午後	一日	施設経費	500円	500円	1000円		
	午前	午後	一日								
施設経費	500円	500円	1000円								

<p>③各種講座・新規利用者・貸室の利用率増加のための工夫</p>	<p>□焼成料(酸化焼成)は、焼成する前の粘土 100 g までごとに 100 円</p> <p>③□貸室稼働率99%(利用日数341日/開館日数345日)</p> <p>□貸室目標利用者数5,400人</p> <p>□貸室目標利用料収入(酸化焼成料含む) 4,200,000円</p>	<p>③□耐震工事後の開館準備日9日間とVOC空気環境検査の1日休館のため利用者数が目標を下回りました。</p>	<p>□酸化焼成料 100gごとに100円</p> <p>③□利用料状況等について(稼働率は、日にち単位)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸室 利用日数 340日 開館日数 344日 稼働率 99% 延利用者数5,194人 <p>□貸室利用料収入(酸化焼成料含む) 4,220,900円</p>
-----------------------------------	---	--	---

イ 利用者ニーズの把握及び利用者さへ尾部の向上、アイディアノウハウの一層の活用

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>①アンケートを活用した利用者サービスと利用促進</p>	<p>①■すべての講座の利用者に対しアンケートを実施し、満足度及び利用者ニーズ等を把握し、今後の運営に反映させる。</p>	<p>①■利用者アンケートによる利用者の声や、講師・アドバイザー・助手からの報告書などから要望を把握し、新規の講座企画や、新粘土と貸し出し小道具の入替、防寒対策のためのヤスリ掛けスペースや、釉薬掛場の改造などサービス向上に取り組みました。</p>	<p>①■鑄込み型の講座を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ■N白信楽土に交換 □経年劣化した貸出用陶芸小道具等を30組交換 ■ヤスリ掛けスペース 釉薬スペースの改造 □すべての講座についてのアンケート調査実施(回収数、320通) ・教室内容満足度97%(満足89%やや満足8%) ・建物設備満足度93%(満足80%やや満足13%) ・スタッフ満足度97%(満足89%やや満足8%)
<p>②利用者への配慮をしながら可能な限りの施設見学の受入れ</p>	<p>②■利用者に支障のないよう一般見学者の団体も受け入れる。</p> <p>■穴窯焼成講座の団体見学の受入れ</p>	<p>②■利用者の妨げにならないよう配慮し、積極的に対応しました。</p> <p>■穴窯焼成講座の団体見学の受入れの実施</p>	<p>②□団体見学4団体26名(再掲載)</p> <p>□一般見学者 1541名</p> <p>□穴窯火入れ、窯出し見学者 12名</p>
<p>③施設スペースの有効利用方</p>	<p>③■講座教室内のレイアウト変更に伴う作陶スペースの拡張と釉</p>	<p>③■講座教室レイアウト変更の実施</p>	<p>③■釉薬掛場とワゴンの改良</p>

法等の検討	薬掛けスペースの改善 ■不良在庫等の廃棄による保管スペースの確保。	■不良在庫等の廃棄の実施	■貸室作品棚の改造 ■粘土収納室の不良在庫廃棄と整理整頓 ■講師控え室の整理整頓 ■プロパン庫内整理整頓
-------	--------------------------------------	--------------	---

ウ 組織的な施設運営について

<p>[取組内容]</p> <p>①適切な運営組織体制と人材の配置（毎日2名以上の勤務体制）</p> <p>②適切かつ効果的な勤務体制の確立</p>	<p>[達成指標]</p> <p>①□人材の配置について</p> <table border="1" data-bbox="435 539 762 1077"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>センター長</td> <td>1人</td> <td>全体総括</td> </tr> <tr> <td>所長</td> <td>1人</td> <td>事業・運営・管理業務責任者 個人情報管理責任者兼務</td> </tr> <tr> <td>副所長</td> <td>1人</td> <td>一部講師・貸室アドバイザー兼務</td> </tr> <tr> <td>事務員</td> <td>3人</td> <td>ローテーション勤務</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td>9人</td> <td>ローテーション勤務</td> </tr> <tr> <td>貸室アドバイザー、助手</td> <td>7人</td> <td>一部講師、助手兼務、ローテーション勤務</td> </tr> </tbody> </table> <p>②□勤務体制について</p> <p>センター長は月3日その他随時必要時、所長は週4～5日、副所長は5日出勤。各講座指導部門では、講師、貸室アドバイザー、助手をローテーション勤務とし、講座運営に支障のないようにする。事務部門では、毎日2人以上のローテーション勤務体制とする。</p> <p>■職務分担表の作成、徹底により、効率的な業務遂行を行う。</p>	項目	人数	備考	センター長	1人	全体総括	所長	1人	事業・運営・管理業務責任者 個人情報管理責任者兼務	副所長	1人	一部講師・貸室アドバイザー兼務	事務員	3人	ローテーション勤務	講師	9人	ローテーション勤務	貸室アドバイザー、助手	7人	一部講師、助手兼務、ローテーション勤務	<p>[実施内容]</p> <p>①□計画どおり実行し、適切な人員配置と組織的な施設運営を実施しました。</p> <p>②□計画どおり実行し、副所長は5日（内週1日はアドバイザー、講座担当は年4日間勤務）出勤とした。</p> <p>■一週間ごとの焼成スケジュール、一ヶ月ごとの勤務スケジュールの作成</p>	<p>[達成状況]</p> <p>①■適切な人員配置と施設運営。</p> <p>②■職務分担に沿って、適切な職務遂行を達成しました。</p> <p>■実施</p>
項目	人数	備考																						
センター長	1人	全体総括																						
所長	1人	事業・運営・管理業務責任者 個人情報管理責任者兼務																						
副所長	1人	一部講師・貸室アドバイザー兼務																						
事務員	3人	ローテーション勤務																						
講師	9人	ローテーション勤務																						
貸室アドバイザー、助手	7人	一部講師、助手兼務、ローテーション勤務																						

エ 個人情報保護等、本市の重要政策を踏まえた取組

<p>[取組内容]</p> <p>①個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小</p>	<p>[達成指標]</p> <p>①■法令、条例及び規則を遵守し、利用者の個人情報の取り扱いを適正に行い、事故のないように努める。</p>	<p>[実施内容]</p> <p>①■計画通り、法令の遵守と個人情報保護への取り組みを行いました。</p>	<p>[達成状況]</p> <p>①■個人情報施設管理及びパスワード管理の実施</p>
--	---	---	---

<p>企業優先発注等の取組の実施</p>	<p>■マイナンバー利用者の個人情報漏えい防止の為、組織的・人的・物理的・技術的安全管理処置を講じる</p> <p>■情報公開規程にのっとり、情報開示請求等に対し、適切に対応する。</p> <p>■人権の尊重について、職員に対し人権に関する研修を年1回実施する。</p> <p>■横浜市の障害者差別解消法の指針に従い差別解消を推進する。</p> <p>■近隣対策の実行について、管理・運営上の近隣への迷惑行為には充分留意し、対策を講じる。</p> <p>■横浜市中小企業振興基本条例に基づき、物品、修繕などの優先発注に努める。</p>	<p>■マイナンバーを本社総務部での一括管理により、安全管理処置を講じました。</p> <p>■情報開示請求等はありませんでした。</p> <p>■人権研修を実施しました。</p> <p>■障害者差別解消法の研修を実施しました。</p> <p>■近隣への配慮を行い、適宜、本牧市民公園との連絡調整を行いました。</p> <p>■可能な物品、修繕案件については、優先発注に努めました。</p>	<p>■マイナンバーマニュアル研修及び本社での施錠管理の実施</p> <p><input type="checkbox"/>対応案件 0件</p> <p><input type="checkbox"/>年1回実施</p> <p><input type="checkbox"/>年1回実施</p> <p>■随時実施</p> <p>■随時実施</p>
----------------------	---	---	---

(3) 施設管理について

ア 施設及び設備の維持保全及び管理、公園管理

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>①施設の安全・安心・快適環境維持と長寿命化対応の実施</p>	<p>①<input type="checkbox"/>毎日の清掃業務と年2回の定期清掃を行う。</p> <p>■管理標準チェックリストによる記録と快適環境維持</p> <p>■施設設備の日常点検と早めの自前小破修繕による高額修繕費支出の回避。</p>	<p>①<input type="checkbox"/>毎日の清掃業務と定期清掃を実施したほか、管理標準チェックリストを活用した毎日の見回り点検により、施設設備等の異常箇所の早期発見につなげました。</p>	<p>①<input type="checkbox"/>毎日清掃と年2回の定期清掃の実施</p> <p><input type="checkbox"/>毎日の管理標準チェックリストの記録</p> <p><input type="checkbox"/>経年劣化によるコンセント・スイッチ類の点検交換工事 1件</p> <p><input type="checkbox"/>中庭雨樋からの漏水コーキング処理 1件</p>
<p>②保守点検、備品管理、環境維持の実施</p>	<p>②<input type="checkbox"/>空調機器定期点検を年2回行う。</p> <p>■給排水設備点検を随時行う。</p> <p>■電気設備点検を随時行う。</p>	<p>②■点検を確実に言い、消防設備点検では所轄消防署へ報告書を提出しました。</p>	<p>②<input type="checkbox"/>空調機定期点検（年2回）</p> <p><input type="checkbox"/>排水枡からの泥の排出（随時）</p> <p><input type="checkbox"/>既存コンセントとスイッチの点検（2回）</p>

<p>③公園の管理区域内の環境維持、公園管理者との連絡調整</p>	<p>□消防設備点検を年2回行う。</p> <p>□窯業機器・機械の機能点検を毎月、保守点検を年1回行う。</p> <p>■粘土や釉薬を直接下水に流さず、下洗い箱を設け一度沈殿させたうえ、上水だけを流すよう毎日の作業として徹底する。</p> <p>□排水溝、柵の掃除を年2回実施し、汚泥量を記録するとともに、適切に汚泥処理をする。</p> <p>③■建物周辺の美観維持のため、草刈、屋根の松葉清掃等、適時手入れをする。</p> <p>■本牧市民公園と工事・修繕他による車両の出入りの連絡調整をする。</p>	<p>■排水溝及び柵の掃除と適切な汚泥処理の実施</p> <p>■耐震工事休館のため、汚泥の排出量が減り、年1回の排出作業となった</p> <p>③■草刈等の実施</p> <p>■ゴミ・古紙・産廃のルート回収・自動販売機飲料の入替・電気・空調機点検・定期清掃車両等の公園内通行許可証の発行</p>	<p>□非常警報設備の点検(年2回)</p> <p>□毎月の陶芸窯機能点検と年1回の定期保守点検の実施</p> <p>□毎日の実施</p> <p>□排水溝・排水柵の清掃と処理(年1回)</p> <p>□年3回実施</p> <p>■実施</p>
-----------------------------------	---	--	---

イ 小破修繕の着実な実行について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>①小破修繕の取組</p>	<p>①■毎日見回り点検により、早めの直営修繕に取り掛かり、高額修繕に至らない様、適切な維持管理を行う。</p> <p>■修繕用交換部品をメーカーより直接購入し直営修繕による工賃・修理費のコスト削減を図る</p>	<p>①□チラシ架台の修理</p> <p>□空調室内機フィルター分解清掃</p> <p>□真空土練機分解修理</p> <p>□グラインダー・雨樋修理</p> <p>□非常警報器バッテリー交換と電源切替えリレーの修理</p> <p>□灯油バーナー分解修理</p> <p>□電動ロクロの修理(3件)</p> <p>□熱センサー交換修理</p>	<p>①□直営修繕 年間22件</p> <p>□部品取寄せ直営修繕 年間7件</p>

ウ 事故予防及び緊急時の対応

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>①事故防止体制・防犯・緊急時の</p>	<p>①□事故発生に備え緊急連絡網を整備し、横浜市へ現場対応・状</p>	<p>①□緊急連絡網を整備し、AEDの操作研修を実施し</p>	<p>①□防災訓練時にAED操作研修を実施(6月、2月)</p>

<p>対応・感染症対策等衛生管理の実施</p>	<p>況を報告する。AED の操作研修を年 2 回行う。</p> <p>■陶芸センターの警備業務一覧（巡回警備・非常事態発生時の処置等）をスタッフ全員での共通業務として認識し行動する。</p> <p>■日常の見回り点検や、スタッフ、利用者からの危険箇所の指摘を事故防止体制に活かす。</p> <p>■感染症対策として液体消毒石鹸とアルコール設置による除菌対策をし、ノロウイルス対策として嘔吐物処理行程をマニュアル化しスタッフ全員で共有する。</p> <p>■デング熱・ジカ熱の蚊対策として水溜りの除去や、野鳥の死骸発見時における保健所と横浜市への通報・連絡を徹底する。</p> <p>■施設の保安警備業務は警備会社に委託し、24 時間警備を行う。</p>	<p>ました。</p> <p>■事務室に監視カメラを設置。</p>	<p>□災害伝言ダイヤルを使った訓練の実施（2 回）</p> <p>□監視カメラ 1 台</p> <p>■委託警備業者による 24 時間機械警備の実施</p>
-------------------------	---	-----------------------------------	---

エ 防災に対する取組

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>① 日常の取組、危機管理マニュアルの整備、防火・防災の取組、災害備蓄等の実施</p>	<p>① ■防災に備え緊急連絡網を常備し、緊急時は横浜市へ現場対応・状況を報告する。</p> <p>□ スタッフ、利用者も含めた防災避難訓練を年 2 回実施する。</p> <p>■陶芸窯の焼成について、スタッフの安全教育、防火管理を徹底する。</p> <p>□ 防災用品を準備、備蓄し期限切れ食品等を年 2 回更新する。</p>	<p>① ■計画どおり、防災等への取組を行いました。</p> <p>■避難訓練では、利用者、スタッフ全員参加で行い、AED の取り扱い説明会も行われました。</p> <p>■陶芸窯のマニュアルと窯周辺の可燃物に対する注意の喚起。</p> <p>■防災持出袋追加設置</p> <p>□ 飲料水と固形糖類を 2 回更新</p> <p>□ 防寒用断熱シートと医</p>	<p>① □避難訓練を年 2 回実施（6 月、2 月）</p> <p>■本牧市民公園での救急救命訓練への参加（9 月）</p> <p>■防災マニュアル、緊急連絡網の確認、徹底</p> <p>■陶芸窯焼成の安全マニュアル教育、防火管理の徹底、1 年間無事故達成</p> <p>■緊急防災持出袋設置</p> <p>□ 飲料水、固形食品の更新（年 2 回、1 月・11 月）</p> <p>□ 防災用品と救急用品の</p>

		療包帯セットを追加購入、バッテリーを1回更新	追加とバッテリー包帯等更新（年1回、12月）
--	--	------------------------	------------------------

オ その他管理に関する事項

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
① 廃棄物の抑制と適正な処理	① ■ 使用済み粘土、削りかす粘土、使用済釉薬は、出来るだけ再利用するため、分別回収は倉庫に保管し、適切に管理する。 ■ 再生を基本とし、廃棄物を最小限に抑える努力し、再生できないものは、ルート回収にて適正に廃棄する。	① ■ 使用済みの粘土や釉薬は、できる限り再生し、廃棄物を抑制しました。 ■ 再生できないものは横浜市のルート改修で適正に廃棄しました。	① ■ 粘土釉薬の再生のため分別回収を毎日徹底 ■ 廃棄物のルート回収による適正な廃棄

(4) 収支について

ア 適切な収支構造及び収支バランス

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
① 適切な収支構造及び収支バランス	① ■ 収益の改善と固定経費の改善努力 ■ 陶芸材料の在庫管理と計画仕入れの努力 ■ 突然の高額修繕に備えた、日常点検による劣化箇所の把握 ■ 利用増加が見込まれる新規講座の企画 ■ 四半期表による収支の予測	① ■ 計画通り経費削減に努めました。光熱水費の削減にも取り組みました。 ■ 在庫管理と計画仕入れの実施 ■ 日常点検の実施 ■ 参加が見込まれる講座 ■ 鋳込み型講座 ■ 招待作家講座 ■ 季節のやきもの講座 ■ 1日染付け講座 ■ 収支予測の実施	① ■ 損害保険会社の変更 ■ 陶芸小道具の一部有料化 ■ 毎月の在庫管理と計画仕入れの徹底 ■ 非常警報装置のリレー修理による全館警報システム交換の回避。 <input type="checkbox"/> 各講座利用率 <input type="checkbox"/> チャレンジ 鋳込み 163% <input type="checkbox"/> 会津本郷宗像窯 75% <input type="checkbox"/> クリスマスブーツ 85% <input type="checkbox"/> 染付け講座 95% <input type="checkbox"/> 年4回

イ 指定管理料のみに依存しない収支構造の検討について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
① 指定管理料のみに依存しない収入確保の取組	① ■ 自主事業の受講者を効率的に獲得し受講率を高めることにより、事業収入の増収を図る。	① ■ アンケート調査や意見・要望から講座や、材料その他の設備の改良を行いました。	① ■ 新釉薬・粘土の導入 ■ 新講座の開講 ■ 屋外作業場の簡易防風壁の設営

	<p>■新規講座を企画検討し、利用料増収を図る。</p> <p>■陶芸センター独自グッズの開発、販売に向けて、実現の可能性を探る。</p> <p>■無料提供している陶芸材料消耗品（紙やすり）を有料にする。</p>	<p>■新規講座を実施（季節の焼物講座1件、チャレンジ講座3件、1日染付け講座1件）</p> <p>■所内において陶器製グッズの企画・検討を行いました。</p> <p>■紙やすりの有料化（1枚各50円）</p>	<p>□季節の焼物講座3回（42人）</p> <p>□チャレンジ講座3回（203人）</p> <p>□1日染付け講座1回（19人）</p> <p>■企画・検討の実施。</p> <p>□収入額4,150円</p>
--	--	---	---

ウ 経費削減及び効率的運営努力について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>①経費削減等効果的運営の取組</p>	<p>①■消耗品、事務用品の節約による事務経費の削減に努める。利用者からの寄贈による古新聞・古布等を再利用する。</p> <p>■陶芸材料の輸送コスト削減のため、販売元から直接引き取り搬入し、輸送コストの削減を図る。</p> <p>■液化燃料（灯油）は直接購入し配送料のコスト削減を図る。</p> <p>■教室運営にかかわる補助的作業や修繕について、出来る範囲のものは職員の自前作業により、経費抑制を図る。</p>	<p>①■計画通り経費削減に努めました。</p> <p>■陶芸材料とメンテナンス用部品を直接仕入れ、経費を削減しました。</p> <p>■液化燃料を配達から直接買い入れることによる経費の削減。</p> <p>■職員が自前で真空土練機、灯油バーナー、電動ロクロの修理をしました。</p>	<p>①□事務費実績4,872千円（対予算比73%）</p> <p>□事業費実績15,712千円（対予算比84%）</p> <p>□年間68,000円の削減</p> <p>■自前修繕による経費抑制。</p>

(5) PDCAサイクルの確実な運用

ア 日報及び月間事業報告書の作成・管理について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>①日報、月間事業報告書の作成と管理</p>	<p>①■日報、月報を作成・管理する。</p> <p>■日常業務の中でPDCAサイクルを推進することにより、短いサイクルでの早い対応ができるよう、努力する。</p>	<p>①■計画通り、日報、月報の作成と管理を行い、PDCAサイクルの推進により素早い対応をこころがけました。</p>	<p>①■日報、月報の作成官理</p> <p>■センター利用者のアンケートの集計による対応。</p>

イ 業務計画及び業務報告書の作成・管理について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①業務計画書、業務報告書の作成と管理	①■業務計画書及び業務報告書について、定められた様式に沿って作成、管理を行う。	①■計画通り、業務計画書、業務報告書の作成と管理を行いました。	①■業務計画書、業務報告書の作成と管理

ウー1 業務評価（モニタリングの実施）について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①モニタリングの実施による業務評価	①■モニタリングにおいて、利用状況、施設管理状況、問い合わせ・苦情等、毎月の管理運営状況について報告する。	①■計画通り、モニタリングの実施による業務評価を行いました。	①■利用状況、施設管理状況問い合わせ・苦情等、毎月の管理運営状況を報告

ウー2 業務評価（自己評価の実施）について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①自己評価の実施による業務評価	①■業務実績及び利用者の満足度や意見を基に、自己評価を行い、以降の業務改善につながるよう努める。	①■計画通り、自己評価の実施による業務評価を行いました。	①■業務実績及び利用者の満足度や意見を基に、自己評価を実施。

ウー3 業務評価（第三者による評価の実施）について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①第三者評価の実施による業務評価	①■業務評価にあたり、外部評価委員会による第三者評価が実施される場合は、横浜市の指示に従い対処する。	①■29年度は、評価委員の視察がありました。	①□評価委員の視察 4名

(6) その他について

ア 保険及び損害賠償の取り扱いについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①保険の加入と損害賠償への対応	①■賠償責任保険、動産総合保険、レジャー・サービス費用保険に加入し、契約書および保険証書の写しを市に提出する。	①■計画通り、保険の加入により損害賠償への備えを整えました。	①■賠償責任保険、動産総合保険、レジャー・サービス費用保険に加入。

イ 関係法令の遵守

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①法令の遵守と個	①■法令、条例及び規則を遵守し、	①■計画通り、法令の遵守	①■法令、条例及び規則の遵

<p>個人情報保護への取組</p> <p>②マイナンバー制度への取組</p>	<p>利用者の個人情報の取扱を適正に行い、事故のないように努める。</p> <p>②■マイナンバーの個人情報漏えい防止の為、組織的・人的・物理的・技術的安全管理処置を講じる。</p>	<p>と個人情報保護への取組を行いました。</p> <p>②■マイナンバーは本社総務課において一括して管理しました。</p>	<p>守、利用者の個人情報の適正な取扱。</p> <p>②■本社でのパスワードによる管理。</p>
--	---	--	---

ウ 市及び関係機関等との連絡調整

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①市及び関係機関との連絡調整	①■月次モニタリングにて業務の報告、確認を行うが、重要な案件、緊急な案件については、随時市に報告・協議し、円滑な業務遂行を目指す。	①■計画通り、市及び関係機関との連絡調整を行いました。	①■月次モニタリングでの業務の報告、確認の他、随時市に報告、協議し、円滑な業務遂行

エ その他

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①情報公開への積極的取組	①■情報公開規程にのっとり、情報開示請求等に対し、適切に対応する。 ■業務計画書、業務報告書をはじめ、施設運営情報等をホームページで公開していく。	①■情報公開請求等はありませんでした。 ■横浜市と陶芸センターのサイトで実施	①□開示請求は0件 ■業務計画書・報告書は横浜市のサイトで公開、施設運営情報は陶芸センターホームページで公開

平成29年度 「横浜市陶芸センター」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,636,000		18,636,000	18,636,000	0	横浜市より
利用料金収入	4,200,000		4,200,000	4,220,900	20,900	貸室利用料・貸室焼成費
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	0		0	0	0	
自主事業収入	20,340,000		20,340,000	18,766,330	1,573,670	自主事業講座料・自主事業焼成費、教室・貸室粘土代
雑入	650,000	0	650,000	872,524	222,524	
印刷代	4,000		4,000	5,858	1,858	コピー代金
自動販売機手数料	136,000		136,000	122,611	13,389	自動販売機手数料
駐車場利用料収入	0		0	0	0	
その他	510,000		510,000	744,055	234,055	陶芸祭売上・作品出品料・受取利息・陶芸材料売上・ルート回集古紙収入
収入合計	43,826,000	0	43,826,000	42,495,754	1,330,246	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,220,000	0	13,220,000	14,244,302	1,024,302	
給与・賃金	11,570,000		11,570,000	12,476,435	906,435	社員2名・嘱託社員1名・パート3名・
社会保険料	930,000		930,000	1,205,933	275,933	社会保険・雇用保険
通勤手当	700,000		700,000	533,155	166,845	通勤費
健康診断費・福利厚生	20,000		20,000	28,779	8,779	健康診断費(協会健保)
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
事務費	3,664,640	0	3,664,640	2,829,344	835,296	
旅費	30,000		30,000	16,210	13,790	交通費
消耗品費	200,000		200,000	173,998	26,002	ガムテープ・紙やすり・ラミネートフィルム・ポリ袋・レジロール・鉛筆・ファクス用紙他・
会議賄い費	50,000		50,000	181,500	131,500	全体会議賄費他
印刷製本費	860,000		860,000	506,968	353,032	講座パンフレット・チラシ・案内ハガキ・広告宣伝費
通信費	500,000		500,000	304,738	195,262	電話料金・メール便・郵便料金・切手・ハガキ代金・DM送料
使用料及び賃借料	500,330	0	500,330	606,427	106,097	
横浜市への支払分	170,000		170,000	156,427	13,573	ゴミゼロルート回収費・目的外使用料(自動販売機・小道具ショーカー)
その他	330,330		330,330	450,000	119,670	穴窯使用料他
備品購入費	500,000		500,000	67,183	432,817	コンパトリール・石膏型用乾燥送風機とパイプラック・
図書購入費	70,000		70,000	12,960	57,040	新聞購読料・陶芸ライブラリー用陶芸図書購入費
施設賠償責任保険	14,310		14,310	14,310	0	施設管理者賠償責任保健康・動産総合保険・レジャーサービス費用保健康
職員等研修費	20,000		20,000	50,000	30,000	業務分担研修会
振込手数料	100,000		100,000	59,196	40,804	銀行支払い振り込み手数料
リース料	600,000		600,000	566,934	33,066	電動ロクロ・小型電機窯・コピー機・印刷機リース料・月極駐車料金
手数料	220,000		220,000	268,920	48,920	ホームページ・サイト管理・サーバー使用料・会計ソフトサポート料
地域協力費	0		0	0	0	
事業費	18,750,000	0	18,750,000	15,712,107	3,037,893	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	0		0	0	0	
自主事業費	18,750,000		18,750,000	15,712,107	3,037,893	陶芸材料仕入れ・講師・アドバイザー・助手給与及び交通費
管理費	5,191,110	0	5,191,110	5,072,347	118,763	
光熱水費	2,080,000	0	2,080,000	1,649,412	430,588	
電気料金	1,200,000		1,200,000	1,100,078	99,922	三相・200V、単相・100V電気料金
ガス料金・灯油料金	380,000		380,000	174,114	205,886	プロパンガス・灯油用灯油代金
水道料金	500,000		500,000	375,220	124,780	上下水道料金
清掃費	2,100,000		2,100,000	2,281,186	181,186	日常清掃(毎日)・定期清掃(年2回)
修繕費	180,000		180,000	264,500	84,500	蛍光灯・水道トイレ漏水・電気配線他
機械警備費	390,000		390,000	413,027	23,027	開館時以外常時機械警備(365日)
設備保全費	441,110	0	441,110	464,222	23,112	
空調衛生設備保守	210,000		210,000	203,472	6,528	定期保守点検(年2回)・室内送風機洗浄他
消防設備保守	87,000		87,000	86,400	600	消防設備点検(年2回)
電気設備保守	142,600		142,600	162,324	19,724	電気炉・灯油窯他保守点検(年1回)電気設備取付・保守
害虫駆除清掃保守	1,510		1,510	6,203	4,693	スズメ蜂殺虫剤・蚊取り線香
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	0		0	5,823	5,823	松葉清掃及び排水汚泥取納廃棄用袋他
共益費	0		0	0	0	
公租公課	2,500,250	0	2,500,250	1,302,605	1,197,645	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	2,500,000		2,500,000	1,302,600	1,197,400	消費税
印紙税	0		0	0	0	
その他()	250		250	5	245	受取利息からの納税分(国税・地方税・復興税)
事務経費	500,000	0	500,000	740,856	240,856	
本部分	0		0	120,000	120,000	本社労務管理費等経理
当該施設分	500,000		500,000	620,856	120,856	講師謝礼・陶芸祭用各種備品他・事務用品費
二一ズ対応費	0	0	0	0	0	
支出合計	43,826,000	0	43,826,000	39,901,561	3,924,439	
差引	0	0	0	2,594,193	2,594,193	

自主事業費収入	18,750,000			18,766,330		
自主事業費支出	18,750,000			15,712,107		
自主事業収支	0			3,054,223		
管理許可・目的外使用許可収入	970,000			866,666		陶芸用小道具売上・自動販売機売上手数料
管理許可・目的外使用許可支出	830,000			156,427		陶芸材料支払い分・賃借料・ゴミゼロルート回収費
管理許可・目的外使用許可収支	140,000			710,239		